



2024年3月期 決算説明会

株式会社 **アイチ** コーポレーション

2024年5月22日（水）

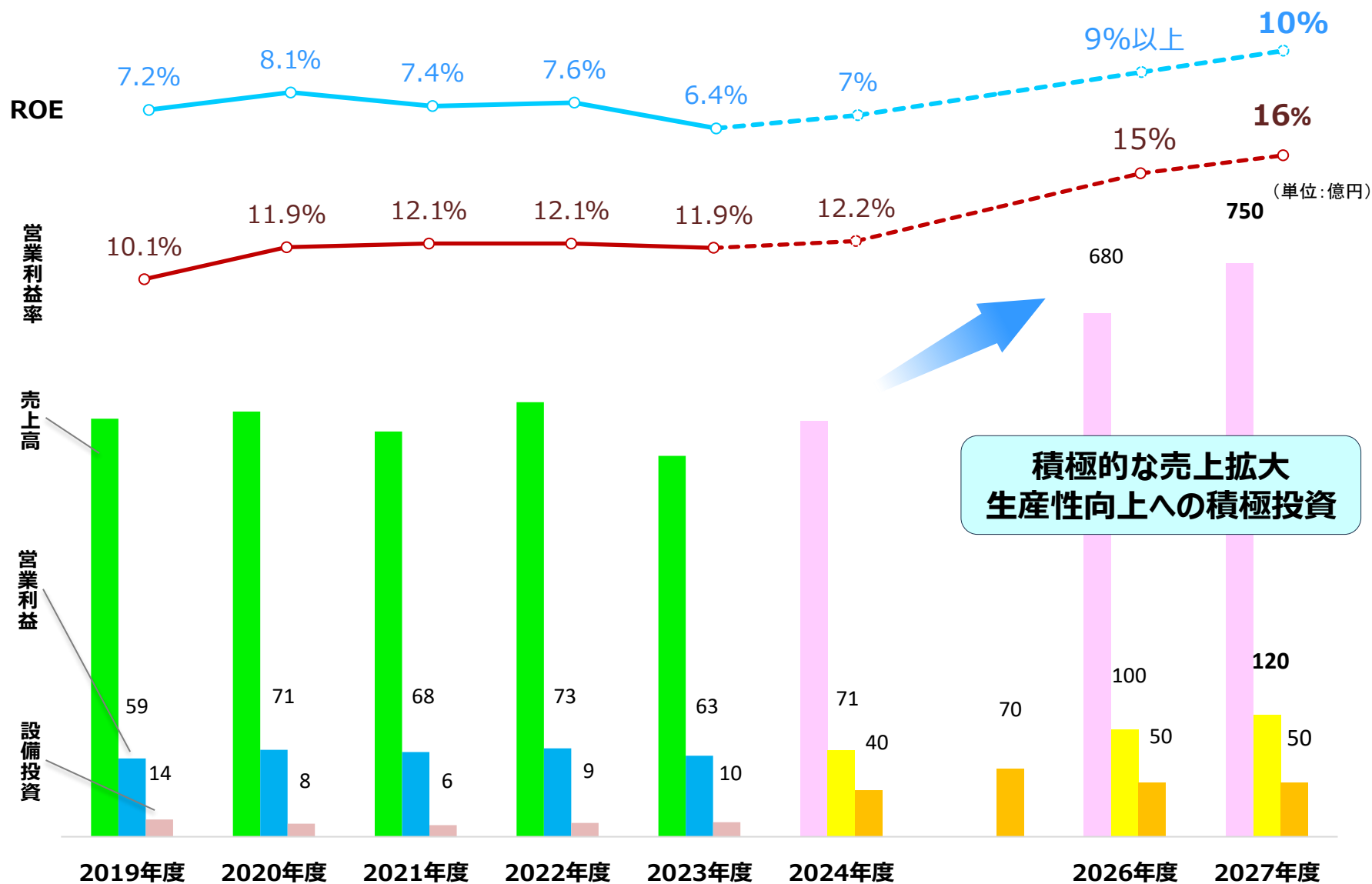
1. 当社の使命

私たちアイチコーポレーションは、作業環境創造企業として、社会インフラ整備に携わるお客様に対し、作業の安全効率化、快適作業、環境対応、災害復旧等、様々なお客様経営課題の解決に主体的に取り組み、お客様にとって無くてはならない商品・サービスを提供することにより、力強く社会に貢献します。

2. 経営方針

CSV経営の徹底により、お客様、株主様、地球環境、地域社会、仕入先様、指定協力サービス工場様、従業員を含む全てのステークホルダーと共に、力強く成長します。

1. 中期事業経営計画
2. 23年度の業績
3. 24年度の業績見通し
4. 環境・社会貢献の取り組み
5. 株主還元



1) 売上拡大戦略

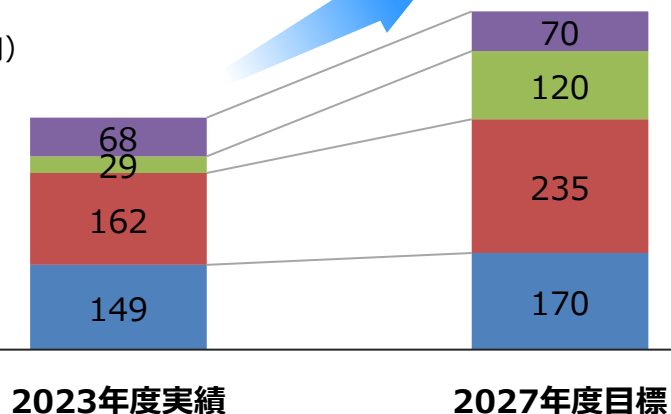
2027年度
売上高750億円

(1) 環境・安全に配慮した商品の拡販

- **電力・通信業界向け売上：170億円**（2023年度比+21億円）
⇒ 環境・安全に配慮した商品、オプションの販売促進
- **レンタル業界向け売上：235億円**（2023年度比+73億円）
⇒ レンタル業界への新商品投入、販売体制の強化
- **海外売上：120億円**（2023年度比+91億円）
⇒ 拡大が見込めるアジア市場を中心とした積極的な販売促進

(単位：億円)

■ 汎機ほか
■ 海外
■ レンタル
■ 電力・通信



環境にやさしいバッテリー駆動
建設現場の安全性と
作業効率向上をサポート

レンタル業界向け新商品
RU09A1SM(2024年3月発売)



(2) ダウンタイムゼロを目指したサービス活動

●ワンストップサービス売上：10億円（2023年度比+10億円）

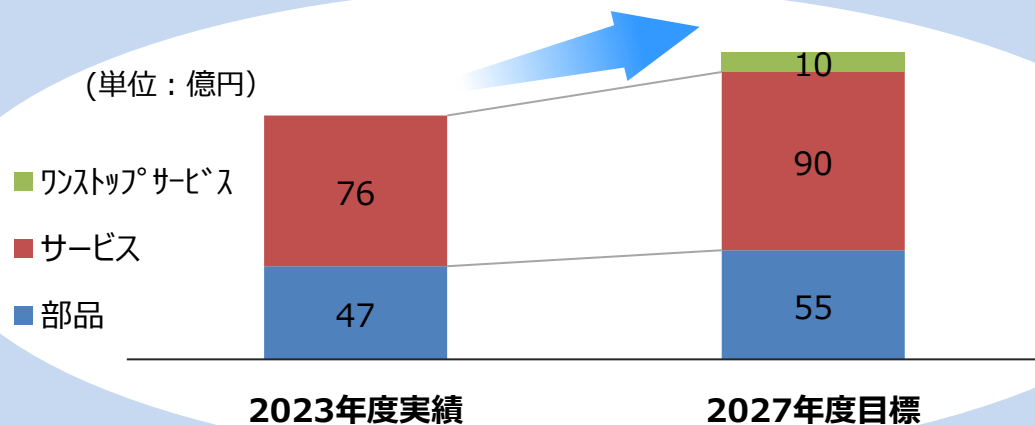
⇒ ダウンタイムゼロを目指し、ワンストップサービス提供（車検・重整備の取り込み等）により、お客様満足度を向上

●既存サービス売上：90億円（2023年度比+14億円）

⇒ 直営サービスの生産性向上、時間当たり出来高改善により、レンタル事業者様等 自社整備を行っているお客様の点検・整備、再塗装などの受託拡大

●部品売上：55億円（2023年度比+8億円）

⇒ 指定協力サービス工場様の生産性向上の支援による収益体質強化で共栄を図る



2) 生産能力増強

2024-2027年度
設備投資210億円

新工場への投資を中心とした画期的な生産性向上への挑戦

- (1) ゼロエミッションを目指した新高崎工場で、自走式高所作業車を専用で組立
- (2) 既存の新治工場・伊勢崎工場を再編して、画期的な生産性向上
- (3) サービス工場への投資によるサービス品質向上

新高崎工場イメージ図

生産能力増強関連設備投資計画

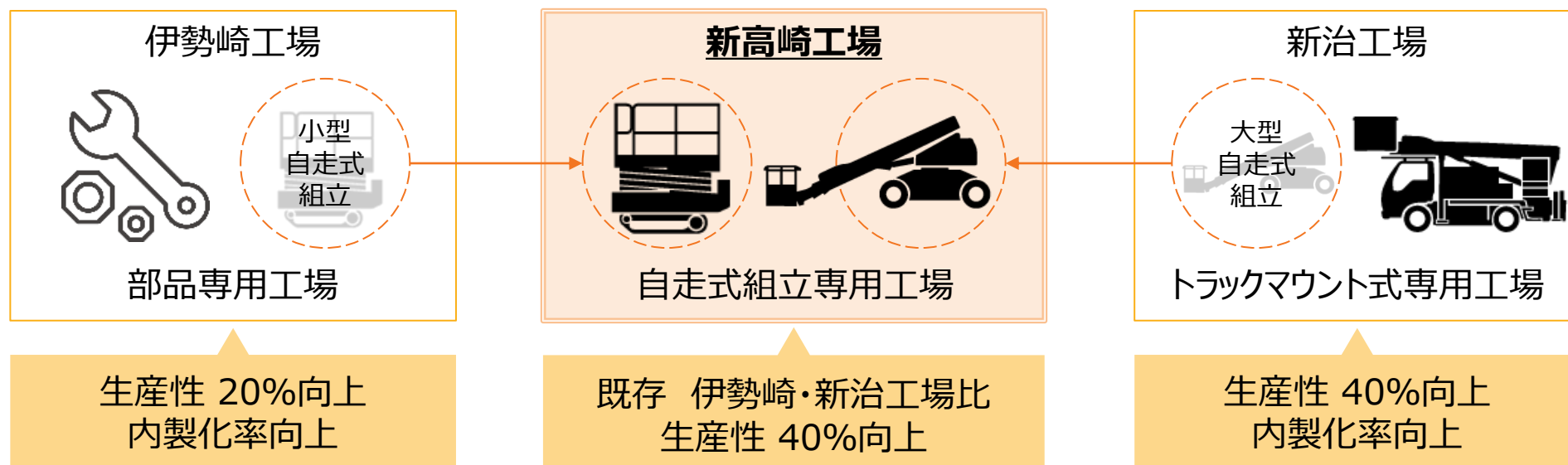
(単位:億円)

	24年度	25年度	26年度	27年度 以降	合計
新高崎工場	30.4	54.3	0.2	20.0	104.9
既存工場 (新治・伊勢崎)	2.4	14.0	29.0	3.0	48.4
合計	32.8	68.3	29.2	23.0	153.3



大幅な生産性向上へ ⇒ 新高崎工場建設に着手

- (1) 場所：群馬県佐波郡玉村町上新田高崎玉村スマートIC北地区工業団地
- (2) 投資額：建屋等73億円（第1期：2026年度まで）＋土地11.7億円
 - ①工場建屋面積 12,000m²
 - ②生産設備
 - ③太陽光発電設備設置（ライン稼働再生エネルギー100%）



混在化する工程を整理し画期的な生産性向上

画期的な生産性向上への挑戦 ⇒ 全員参加による絶え間ない改善活動の展開

(1) 生産性向上：様々な自主研（TPS改善）活動の展開

社内自主研（新治）	機種による工数差の大幅な低減
社内自主研（伊勢崎）	塗装条件の見直し・手直し工数の低減
特別自主研	検査工程に特化した改善

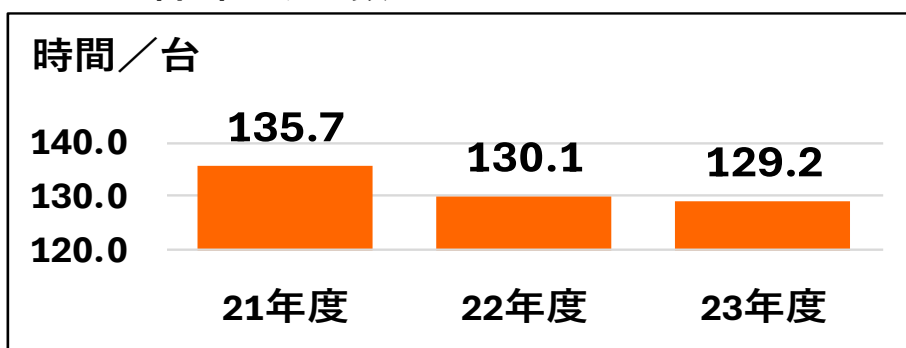


改善成果の現場確認

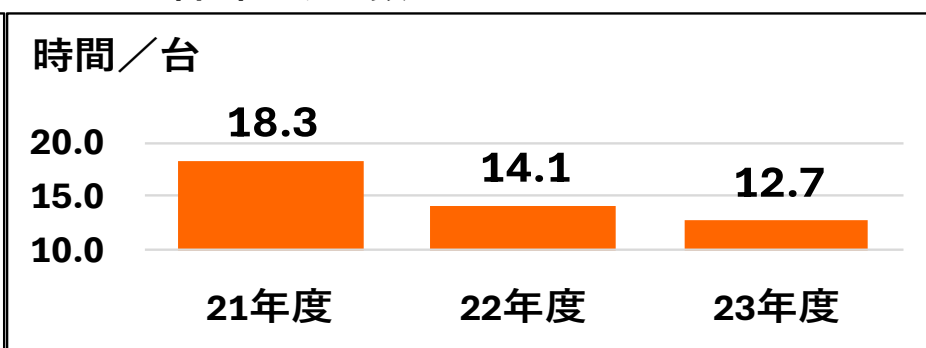
安全・品質を切り口に、やりやすく確実な作業を追求することで大幅に生産性を向上

(2) 製造部門を中心に全社一丸となった活動で工数を低減

SH15C台当たり工数

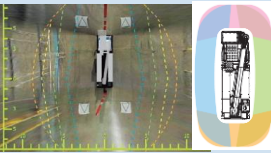
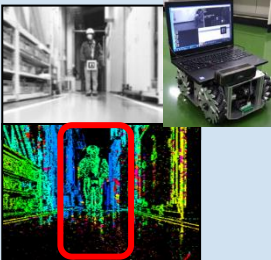
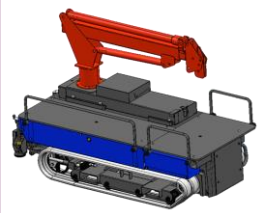
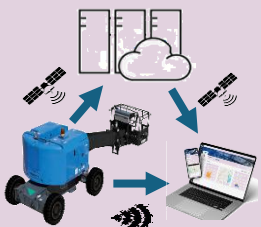
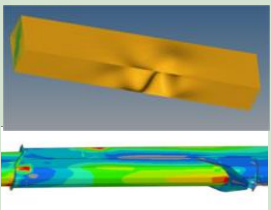


WM05C台当たり工数



3) 積極的な開発投資

多方面へのアライアンス連携とM&A検討

分野	社会貢献 災害レジリエンス対応のための商品開発	環境・電動化 - 排出CO₂削減 - 先進環境対応技術 - サーキュラーエコノミー対応	総合安全支援 高所作業車利用時の労働災害撲滅	自動化・自律化 2024年問題に対応する効率化貢献技術 - 自動・遠隔・ロボット化技術・テレマティクス活用	軽量化 高所作業領域拡大による生産性向上
事例	移動式電源車  倒木伐採機能付き建柱車 	電動動力ユニット搭載 (リチウムイオン電池)  EVシャシ架装 (バッテリー共用) 	サラウンドビュー ／画像処理(4画像合成)  周辺認知 (点群データ) 	荷役運搬台車  テレマティクス活用 	シミュレーション分野  高張力鋼板基礎研究 
外部連携	九州電力様 東京アールアンドデー様 ピューズ様	日野自動車様 いすゞ自動車様 三菱ふそう様	産業技術総合研究所様	古河ユニック様 トラックユニット様	埼玉大学様 スウェーデンスチール様 アルゴグラフィックス様

1. 中期事業経営計画
2. **23年度の業績**
3. 24年度の業績見通し
4. 環境・社会貢献の取り組み
5. 株主還元

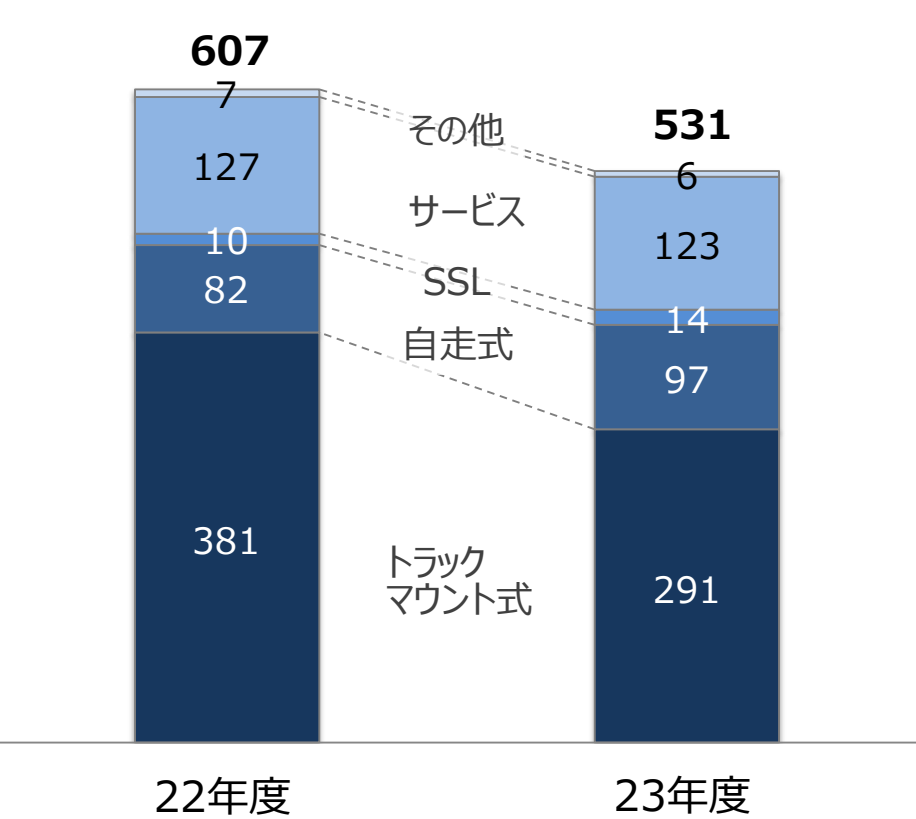
概況

(単位:億円)

連 結	22年度		23年度		増減額	増減率
	金 額		金 額			
売上高	606.7		531.2		△ 75.5	△12.4%
営業利益	73.5	12.1%	63.4	11.9%	△ 10.1	△13.7%
経常利益	80.1	13.2%	70.1	13.2%	△ 10.0	△12.4%
当期純利益	59.5	9.8%	52.7	9.9%	△ 6.8	△11.5%
関係会社	22年度		23年度		増減額	増減率
浙江愛知工程機械有限公司						
売上高	18.9		23.0		4.1	21.7%
営業利益	0.0	0.2%	0.6	2.6%	0.6	1383.5%
当期純利益	△ 0.6	△3.2%	0.8	3.5%	1.4	－
AICHI NZ LIMITED						
売上高	3.5		2.5		△ 1.0	△28.6%
営業利益	0.7	20.0%	0.3	12.0%	△ 0.4	△57.1%
当期純利益	0.5	14.3%	0.1	4.0%	△ 0.4	△80.0%
杭州愛知工程車輛有限公司(持分法適用)						
売上高	49.9		50.2		0.3	0.6%
営業利益	7.6	15.2%	9.1	18.1%	1.5	19.7%
当期純利益	7.5	15.0%	8.9	17.7%	1.4	18.7%

セグメント別売上高

(単位：億円)

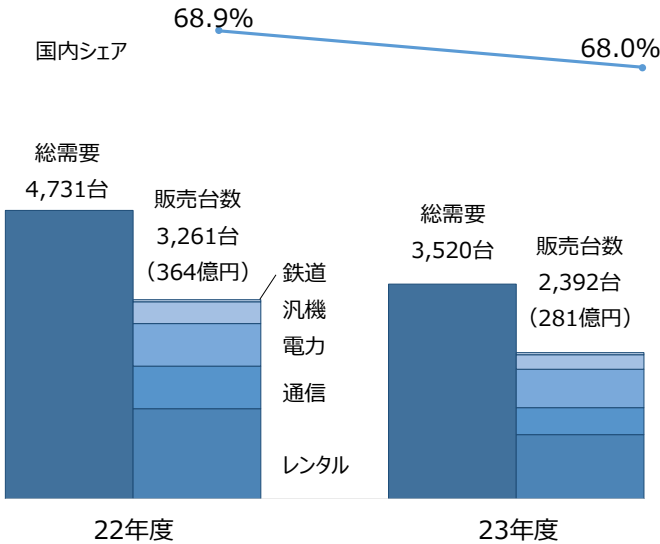


(単位:億円)

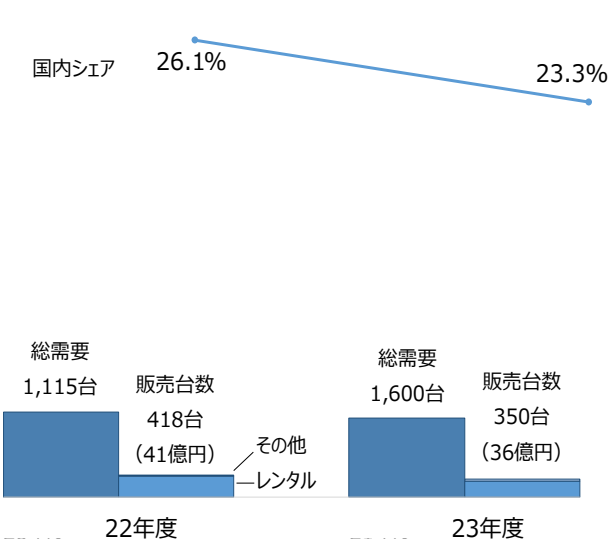
	22年度		23年度		増減額
	金 額		金 額		
(国内シェア) トラックマウント式	(68.9%) 381	62.9%	(68.0%) 291	54.7%	(△ 0.9%) △ 91
内)海外	17	2.8%	9	1.8%	△ 8
(国内シェア) 自走式	(17.5%) 82	13.5%	(21.6%) 97	18.3%	(4.1%) 16
内)海外	19	3.1%	19	3.6%	0
S S L	10	1.6%	14	2.6%	4
サービス	127	20.9%	123	23.2%	△ 4
内)海外	9	1.5%	9	1.7%	△ 0
その他	7	1.1%	6	1.1%	△ 0
合計	607	100%	531	100%	△ 75
内)海外	45	7.5%	38	7.1%	△ 8

国内シェア・業界別販売台数

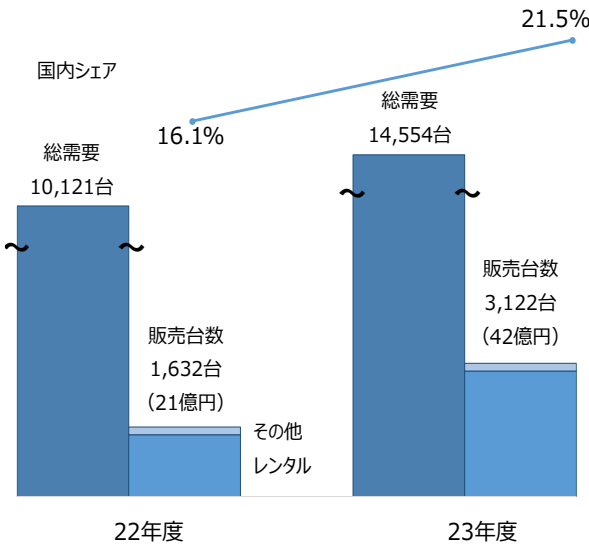
トラックマウント式



自走式



小型自走式



■ 業界別販売台数・比率 (単位:台)

業界	22年度			23年度		
	販売台数	比率	シェア	販売台数	比率	シェア
レンタル	1,484	46%	59.8%	1,055	44%	55.8%
通信	687	21%	85.3%	443	19%	87.9%
電力	709	22%	81.5%	625	26%	83.4%
汎機	363	11%	69.4%	238	10%	71.5%
鉄道	18	1%	36.0%	31	1%	70.5%
国内計	3,261	100%	68.9%	2,392	100%	68.0%
海外	144	-	-	72	-	-

■ 業界別販売台数・比率 (単位:台)

業界	22年度		23年度	
	販売台数	比率	販売台数	比率
レンタル	391	94%	310	89%
その他	27	6%	40	11%
国内計	418	100%	350	100%
海外	141	-	187	-

■ 業界別販売台数・比率 (単位:台)

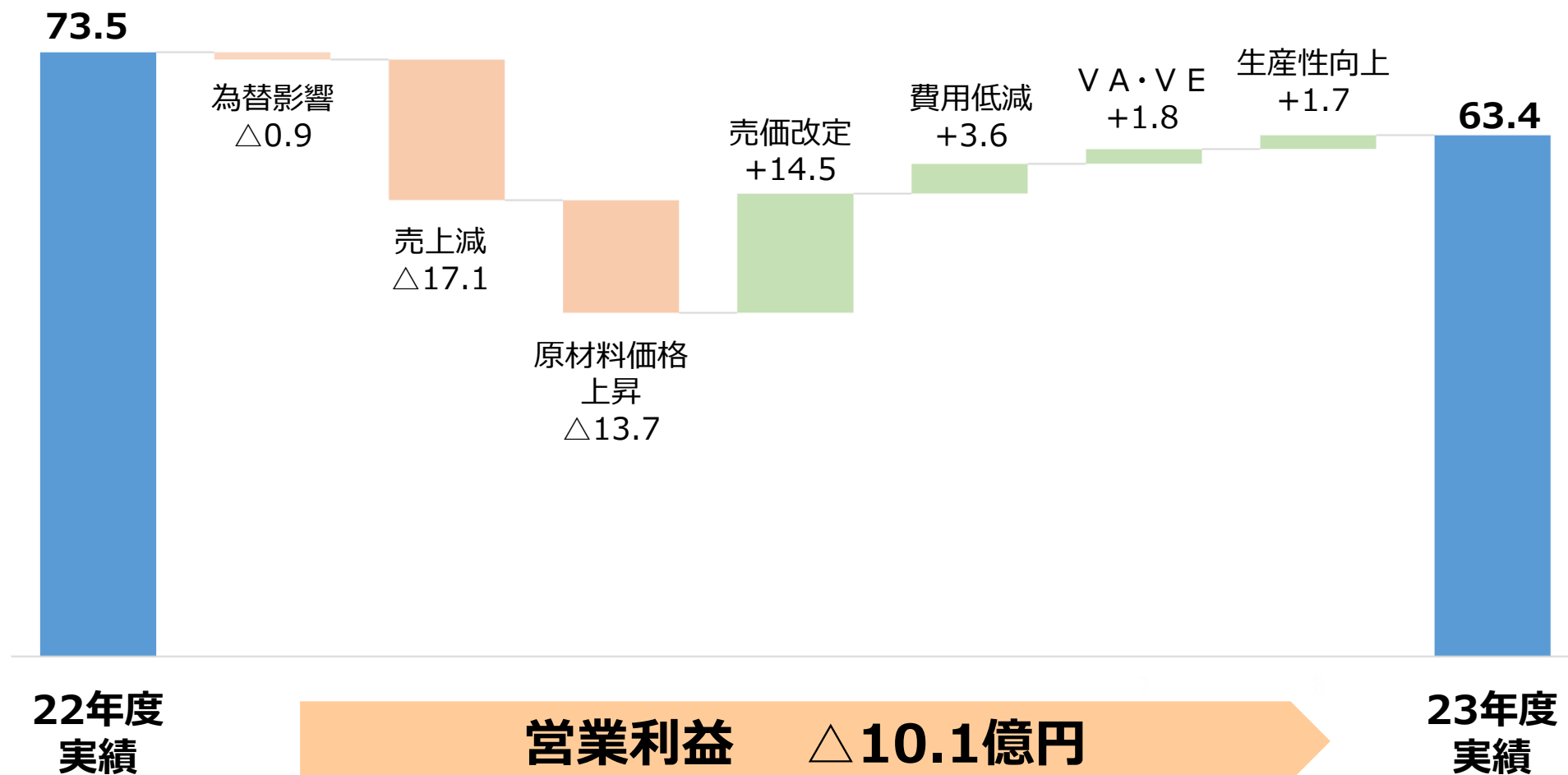
業界	22年度		23年度	
	販売台数	比率	販売台数	比率
レンタル	1,463	90%	2,947	94%
その他	169	10%	175	6%
国内計	1,632	100%	3,122	100%
海外	263	-	151	-

連結営業利益の増減要因

(単位：億円)

(営業利益率 12.1%)

(営業利益率 11.9%)



貸借対照表

(単位:億円)

			22年度末		23年度末		増減額
			残高	比率	残高	比率	
資産の部	流動資産		676	70.6%	658	69.3%	▲ 18
	固定資産		281	29.4%	291	30.7%	10
	合計		957	100.0%	949	100.0%	▲ 8
負債・純資産の部	流動負債		149	15.6%	109	11.5%	▲ 40
	固定負債		22	2.3%	22	2.3%	0
	負債 合計		171	17.9%	131	13.8%	▲ 40
	純資産 合計		786	82.1%	818	86.2%	32
	合計		957	100.0%	949	100.0%	▲ 8

- ・中期的には、新工場を始めとした積極投資、株主還元で、現預金を減らす方針
- ・また国内外についてのM&Aについても検討していく

1. 中期事業経営計画
2. 23年度の業績
3. 24年度の業績見通し
4. 環境・社会貢献の取り組み
5. 株主還元

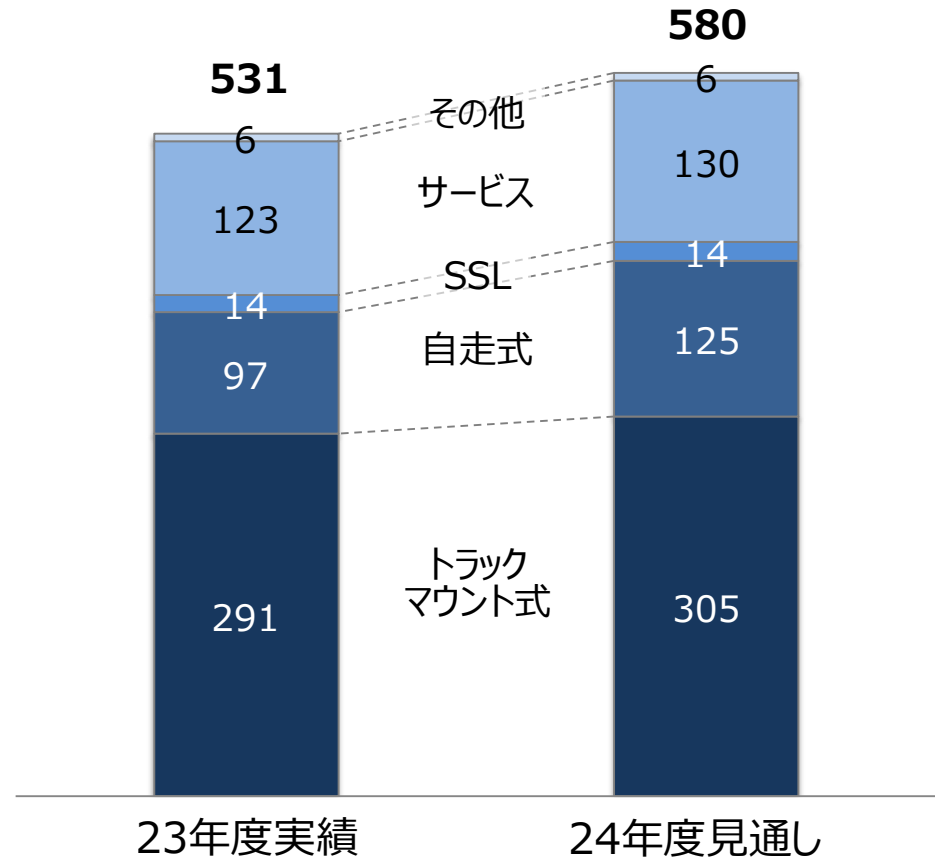
業績見通し

(単位:億円)

	23年度実績		24年度見通し		増減額	増減率
	金 額		金 額			
売上高	531.2		580.0		48.8	9.2%
営業利益	63.4	11.9%	71.0	12.2%	7.6	12.0%
経常利益	70.1	13.2%	76.0	13.1%	5.9	8.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	52.7	9.9%	56.0	9.7%	3.3	6.3%
1株当たり配当金	中間	19円	中間(予想)	20円		
	期末	21円	期末(予想)	20円		
	年間	40円	年間(予想)	40円		
設備投資額	10億円		40億円			
減価償却費	15億円		15億円			

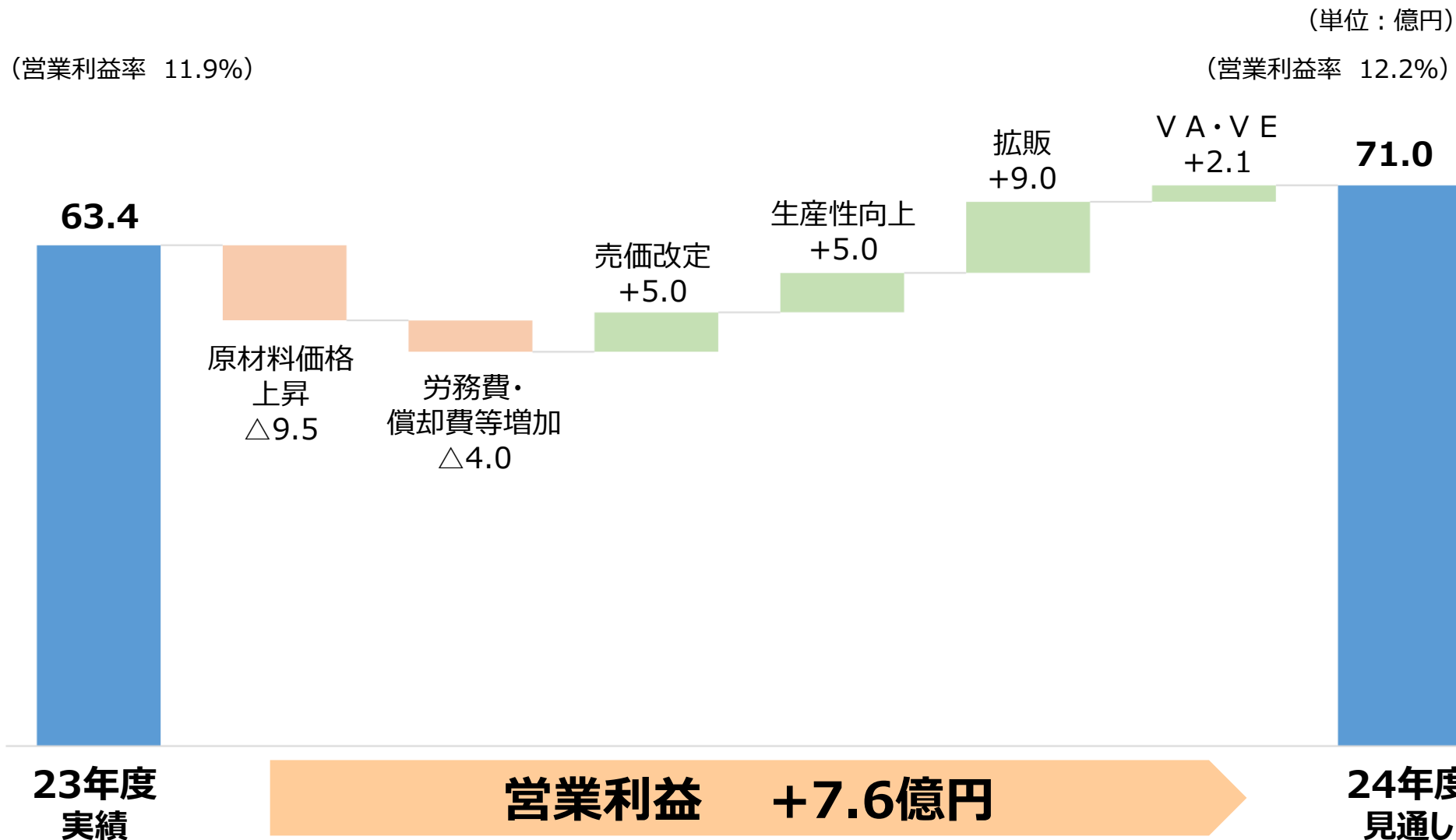
セグメント別売上高

(単位：億円)



	23年度実績		24年度見通し	
	金 額		金 額	
トラックマウント式	291	54.7%	305	52.6%
内)海外	9	1.8%	14	2.3%
自走式	97	18.3%	125	21.6%
内)海外	19	3.6%	21	3.7%
SSL (スキッドステアローダー)	14	2.6%	14	2.4%
サービス	123	23.2%	130	22.4%
内)海外	9	1.7%	5	0.8%
その他	6	1.1%	6	1.0%
合計	531	100%	580	100%
内)海外	38	7.1%	40	6.8%

連結営業利益の増減要因



1. 中期事業経営計画
2. 23年度の業績
3. 24年度の業績見通し
4. 環境・社会貢献の取り組み
5. 株主還元

アイチのサステナビリティアクション

生産活動におけるCO₂排出量削減から、商品を通じた環境負荷低減への貢献まで、商品のライフサイクル全体で環境に配慮した商品づくりに取り組んでいます

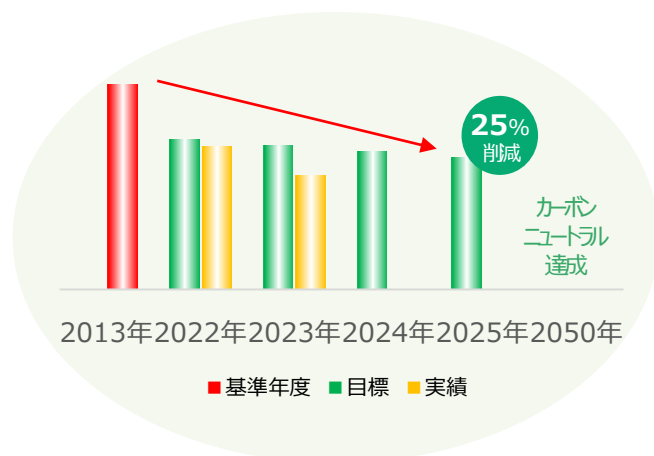
環境に対する取り組み①



□ 生産活動を通じたCO₂排出量削減

【生産CO₂排出量の削減】

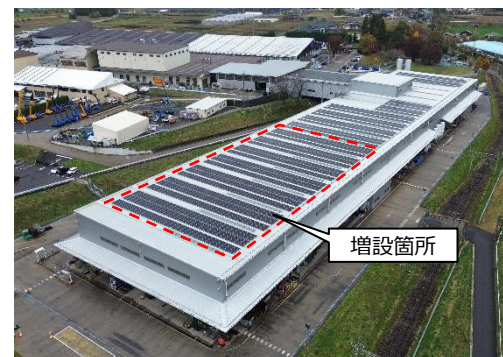
2025年度までにCO₂総排出量25%削減を目指す



【再生可能エネルギー導入】

2025年度までにグリーン電力構成比15%以上を目指す

15%
以上



新治事業所に太陽光システムを増設
2023年10月より稼働

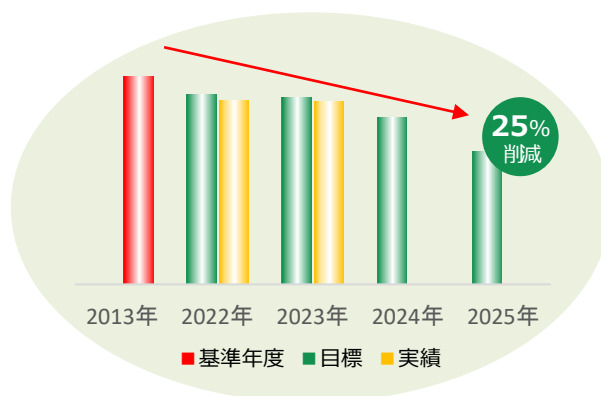
環境に対する取り組み②



□ 商品を通じた環境負荷低減への貢献

作業環境創造企業として、環境対応商品をご提供することによりお客様の環境活動のお手伝い

【当社商品の使用によるCO₂排出量削減目標】



2025年度までに当社商品の使用によるCO₂排出量を2013年度比25%削減を目指す

【主な取り組み】 ※開発中の商品



EV高所作業車

走行時のCO₂排出量もゼロに



リチウムイオンバッテリー搭載車

充電性能に優れ、環境負荷を抑える



電動自走式高所作業車

作業時のCO₂排出量ゼロを実現する



CAS（キャス）とは、お客様が災害復旧作業の現場で安全に迅速な復旧工事を行うために当社グループが一丸となって取り組む活動です。



体制

- 稼働支援
- 車両提供
- 場所提供



情報

情報伝達/情報共有
のしくみづくり

- 車両の稼働状態管理
- 車両の位置情報提供



もの

災害復旧に向けた
車両/装備開発

- 道路障害物(倒木)除去
- 応急電源確保・移動充電車
- サポートカー・現地指揮車

能登半島地震発生に伴い、災害復旧活動を支援



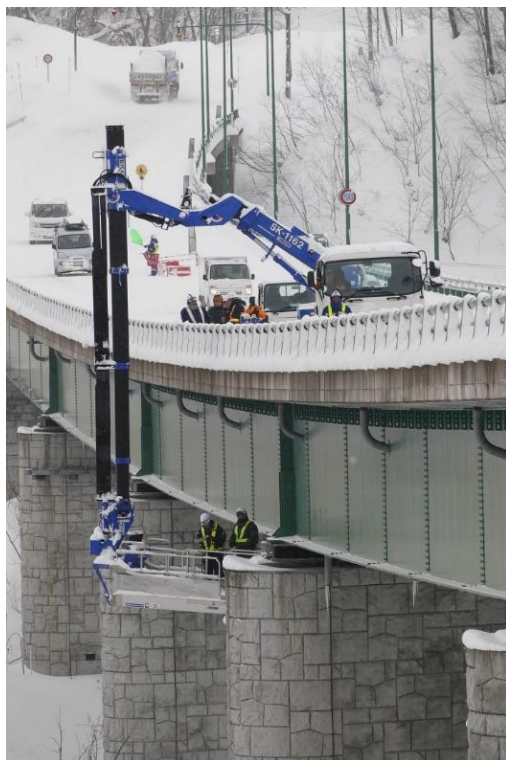
架空線へのかかり木や倒木の除去に対応
できる作業車



発電・蓄電・救援が可能な多目的電源車

電力・通信・鉄道および建設業界等を中心とした社会インフラ整備を支えるお客様とともに、地域社会に貢献しています。今後は更に**災害復旧支援**に対しても、力強く貢献していきます。

人々の生活に欠かせないインフラ整備に携わる商品を積極的に開発・提供



橋梁点検車



トンネル点検車



軌陸車



穴掘建柱車

社会貢献活動

- 社会の一員として、地域に根差し、ともに発展できる活動の継続的な推進

社会科見学



2018年度より地域の小学校に協力し、
これまでに約2,200名が来訪

能登半島地震募金



各拠点にて募金活動を実施

障がい者施設運営の協力



障がい者施設の方によるパン販売を継続的に支援

地域振興イベント出展



イベント会場にて高所作業車試乗体験を実施

- ① 品質管理教育
(QC、仕事仕方、SQC、QC検定)
- ② 技能向上競技会、技能検定
- ③ TPS教育、自主研活動

- ④ ワークライフプラン、育成面談、
職場別育成計画
- ⑤ 研修助成金制度
- ⑥ S T 制度

技能向上競技会



Q Cサークル活動



障がい者受入セミナー



階層別研修



選択型定年制導入

60歳以降も活躍できる場を拡大



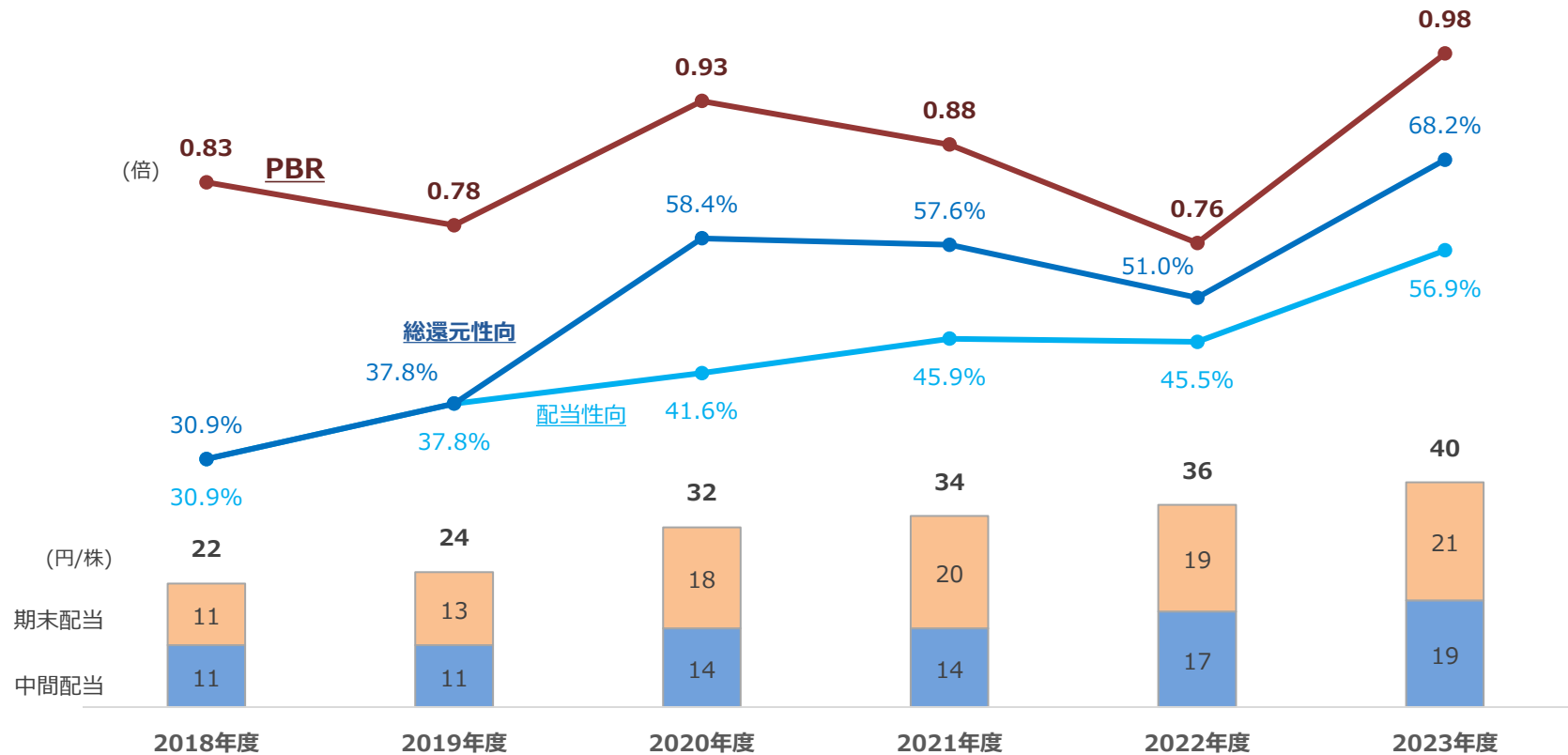
60歳で ①または②を選択

- ①65歳まで正従業員継続
- ②定年後再雇用契約／年

1. 中期事業経営計画
2. 23年度の業績
3. 24年度の業績見通し
4. 環境・社会貢献の取り組み
5. 株主還元

【株主還元方針】

株主還元を安定的に向上させることを基本とし、総還元性向50%以上を基準とした株主還元を行っていきます。



この配布資料に記述されている、弊社の予想、見通しは、現在入手可能な情報から得られた弊社の経営者の判断に基づいています。

従って、この業績予想に全面的に依拠することはお控え頂きたく、お願い申し上げます。

また、これらの数字に関しては、様々なリスクや不確実性により、大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

ここでのリスクや不確実性とは、弊社を取り巻く経済情勢、お客様環境、競合環境、関連法律・法規、為替レートの変動などが含まれます。

ただし、業績に与え得る要因はこれに限定されるものではありません。